



第5回「日向ラボ・ラボ」を開催。今回のテーマは「共創」。

令和7年12月14日(日)に、新しい図書館複合施設の整備に向けた第5回日向ラボ・ラボを日向市役所1階市民ホールで開催しました。令和6年9月に開館した新潟県小千谷市の図書館複合施設の事例を学び、オンラインでゲストスピーカーの話聞き、新しい図書館像について意見を交わしました。

共創とは？

地域をより良くするため、行政や市民、企業等が協力し、対話を重ねながら、共に新しい社会的価値やアイデアを生み出すことを意味します。日向市では、まちづくりの共有の指針となる「第3向日向市総合計画」の中でも、まちの将来像に「共創のまち」を掲げています。

人と自然が響き合い、
にぎわいあふれる

共創のまち
日向



小千谷市の事例紹介

アカデミック・リソース・ガイド(株)の進行で、「公共施設づくりのステップ」の説明と「小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」の事例を紹介しました。その後、開館記録動画「ホントカ。イロイロ」を会場内で上映し、小千谷市の取組について学びました。

オンライントークセッション

施設の整備に携わった皆様で、トークセッションを行いました。土田さんからは「市民との共創するために話し合いのハードルを下げて繰り返し開催した。」町田さんからは「特徴的な”動く書架”は初めは市民から問い合わせも多かったが次第に図書館の上手な使い方を学んでくれるようになった。」星野さんからは「初期から関わっており、毎回楽しく話し合いの場にいれたことが良かった」と、共創の取組への想いを語っていただきました。



小千谷市職員

土田 昌史さん



小千谷市職員

町田 祥子さん



小千谷市民

星野 哲也さん

＼今回、トークセッションを行ったゲストスピーカーの方！／

参加者
14人

今日の感想

- 図書館でDJライブや様々なイベントが開催されていることに驚きました。
- 動く本棚などで自由な空間に変化できるところがすごい。
- 市民が活躍できる場所にすることが大事だと感じました。



新しい施設にどう関わりたいか

- わくわくするイベントの企画や本と出会うイベントに関わりたい。
- 情報発信の場として活用していきたい。
- 読書やイベントを通じて新しいことを知ってみたい。

どんな"居場所"にしたいか

- 気軽に立ち寄れて、ゆったりできる安心感のある空間。
- 子どもや若者、高齢者など幅広い世代が交流し、チャレンジや学びができる場所。
- 「今日来てよかった」と感じる事ができる自由で居心地の良い居場所。
- 一人でも、誰かと来ても過ごせる、多様なニーズに応えられる柔軟な空間。

施設整備までの望ましい市民の関わり方

- 第1位 アイデア、やりたいことが
実証実験できる場
- 第2位 ワークショップ、意見交換会
- 第3位 アンケートやヒアリングの実施

共創の取り組みで施設に期待すること

- 第1位 子どもや若者が学んだり、
ものづくりを楽しめる場
- 第2位 色々な人が集まって知り合えたり、
仲良くなれる場所
- 第3位 高齢者や体の不自由な人も使いやすい環境



会場もクリスマス仕様に飾り付け



第7回 日向ラボ・ラボのお知らせ

- ✓ 日時 2月14日(土) 13時30分~14時、14時~15時30分
- ✓ 場所 日向市立図書館
- ✓ 内容

図書館で使用する本箱(ほんばこ)に
オリジナルのデザインを刻印するワークショップです。

※ 要申込

人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向



日向市役所 総合政策課

〒883-8555 日向市本町10番5号

☎0982-66-1001 sougou@hyugacity.jp

